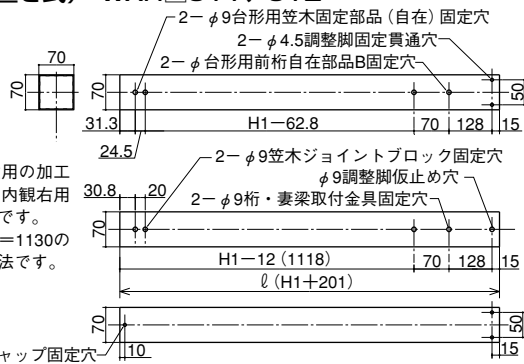


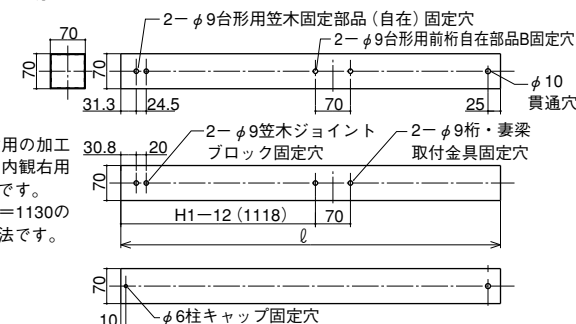
■部材加工図

■柱 (屋根置き式) WXH□011、012



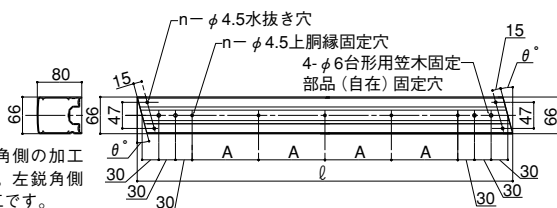
※本図は内観左用の加工を示します。内観右用は対称の加工です。
※()内はH1=1130の場合の参考寸法です。

■柱 (柱建て式) WXH□011、012



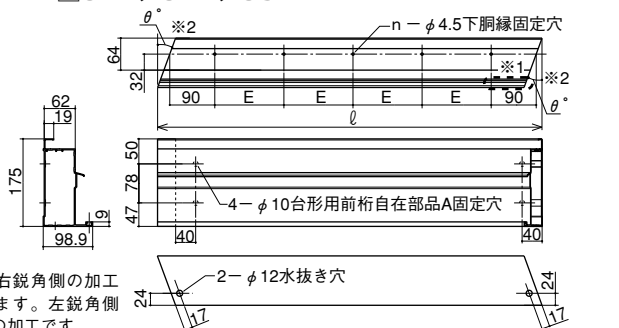
※本図は内観左用の加工を示します。内観右用は対称の加工です。
※()内はH1=1130の場合の参考寸法です。

■前笠木 WXH□051、052、061 (500≤A≤700で加工してください。)



※本図は右鋭角側の加工を示します。左鋭角側は対称の加工です。

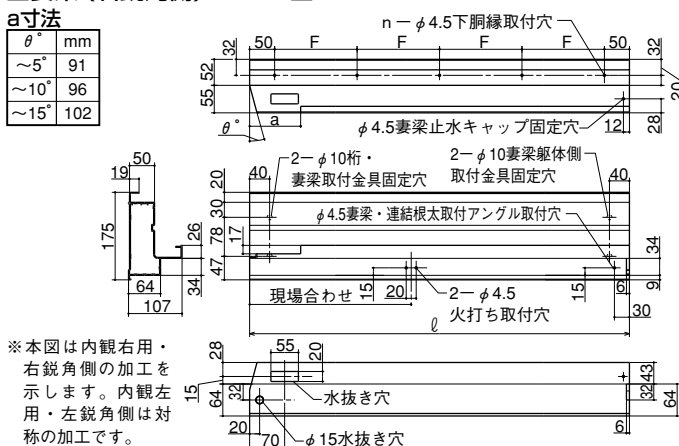
■桁 WXH□071、072、081 (500≤E≤700で加工してください。)



※本図は右鋭角側の加工を示します。左鋭角側は対称の加工です。

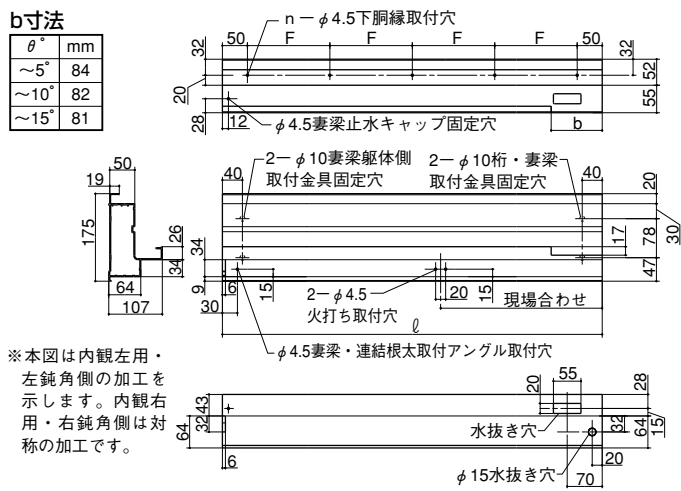
※1: θ ≥ 10° の場合、切欠きを入れてください。(鋭角側のみ)
※2: 前桁を角度切断する際に取付け詳細①で柱に取付ける台形用前桁自在部品Aを前桁に仮止めし、一緒に角度切断してください。

■妻梁 (右鋭角側) WXH□111 (500≤F≤700で加工してください。)



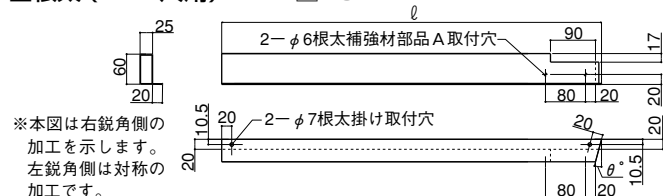
※本図は内観右用・右鋭角側の加工を示します。内観左用・左鋭角側は対称の加工です。

■妻梁 (左鋭角側) WXH□111 (500≤F≤700で加工してください。)



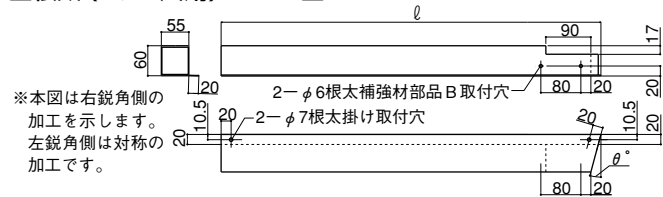
※本図は内観左用・左鋭角側の加工を示します。内観右用・右鋭角側は対称の加工です。

■根太 (2~4尺用) WXH□131



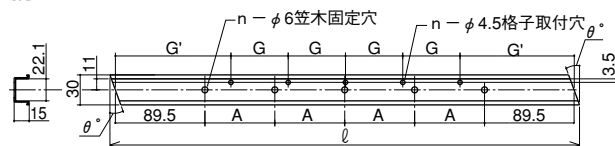
※本図は右鋭角側の加工を示します。左鋭角側は対称の加工です。

■根太 (5、6尺用) WXH□141

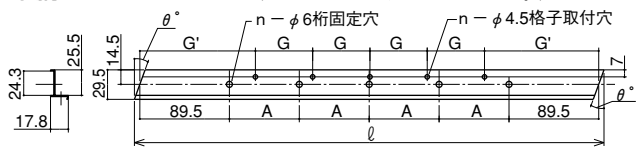


※本図は右鋭角側の加工を示します。左鋭角側は対称の加工です。

■上胴縁 WXH□171 (500≤A≤700で加工してください。)

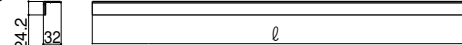


■下胴縁 WXH□181 (500≤A≤700で加工してください。)

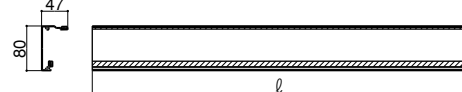


G寸法について	40格子の場合	G ≤ 149
	28格子の場合	G ≤ 137
G'寸法について	40格子の場合	115 ≤ G' ≤ 129
	28格子の場合	110 ≤ G' ≤ 123

■デッキ材小口隠し WXH□441



■水受け材 WXH□451



■切断寸法公式表

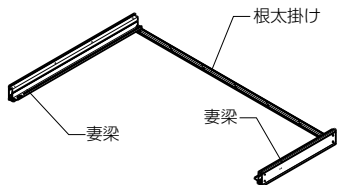
部 材 名	l
前笠木	(L-70) ÷ COS θ + 66tan θ
桁	(L-70) ÷ COS θ + 98.9tan θ
妻梁 (鈍角側)	D1-35 - (L-70) tan θ
妻梁 (鋭角側)	D2-35 + (L-70) tan θ
根太 (2~4尺用)	根太ピッチ450mm以下になるように実測の上切断
根太 (5、6尺用)	根太ピッチ450mm以下になるように実測の上切断
上胴縁	(L-70) ÷ COS θ + 30tan θ - 1
下胴縁	(L-70) ÷ COS θ + 29.5tan θ - 1
デッキ材小口隠し	(L-70) ÷ COS θ - 30
水受け材	(L-70) ÷ COS θ - 35

※他の部材の加工図は基本タイプを参照してください。

■取付け順序

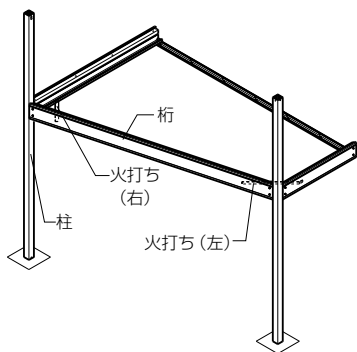
※●は基本タイプの取付け手順をご覧ください。

- 根太掛けの取付け
- 柱の組立て
- 妻梁の取付け



■柱、桁、火打ちの取付け

●柱の固定

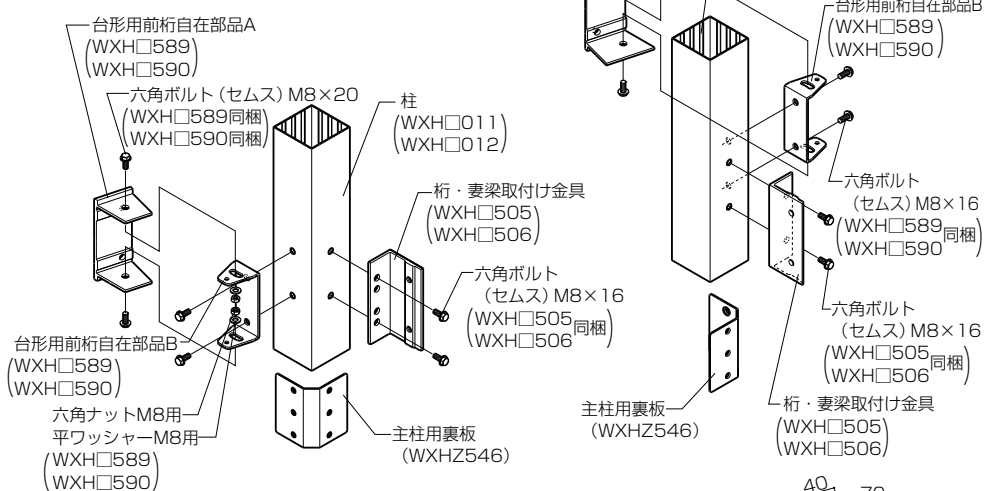


■取付け詳細

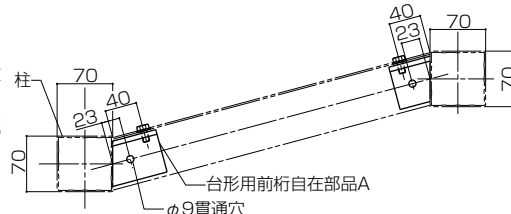
■柱の組立て

①柱に主柱用裏板を挿入し、桁・妻梁取付け金具と台形用前桁自在部品Bを取付けます。

警告
●必ず指定のねじ・ボルトで固定してください。



- ②前桁加工時に角度切断した台形用前桁自在部品AのV溝の柱側から23mmの位置にφ9貫通穴をあけます。
- ③台形用前桁自在部品Aと台形用前桁自在部品Bを固定します。

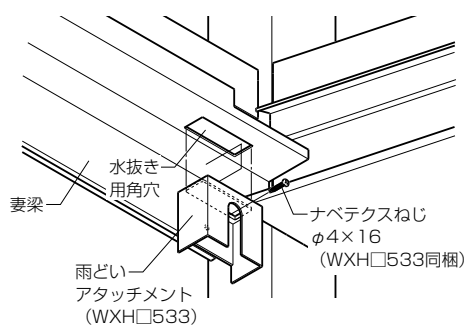


■柱、桁、火打ちの取付け

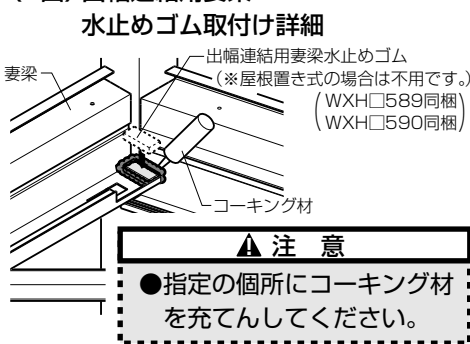
- ①妻梁に柱を取付けます。
- ②桁に根太固定当て板と火打ち固定用のボルトを挿入し柱に桁を取付けます。
- ③雨どいアタッチメントを妻梁の水抜き用角穴に合わせて取付けます。(A図参照)
※屋根置き式の場合は不要です。
- ④火打ちを桁と妻梁に合わせ、下穴を妻梁に開けて固定します。
- ⑤妻梁と桁に押し当てるように出幅連結用妻梁水止めゴムを取付け、周りにコーキング材を充てんします。(B図参照)

警告
●必ず指定のねじ・ボルトで固定してください。

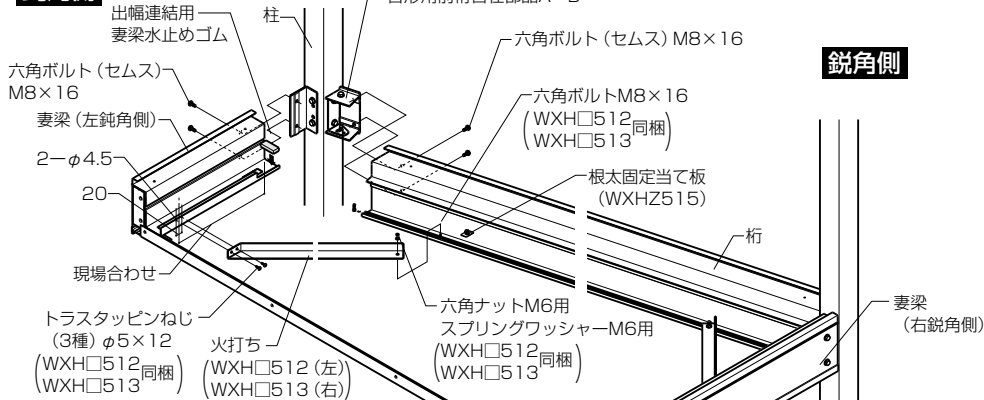
<A図> 雨どいアタッチメント取付け詳細



<B図> 出幅連結用妻梁水止めゴム取付け詳細



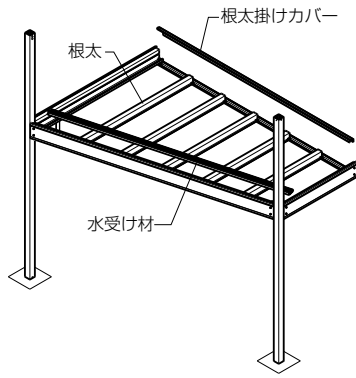
鈍角側



鋭角側

2 根太、水受け材の取付け

●根太掛けカバーの取付け (柱建て式の場合)

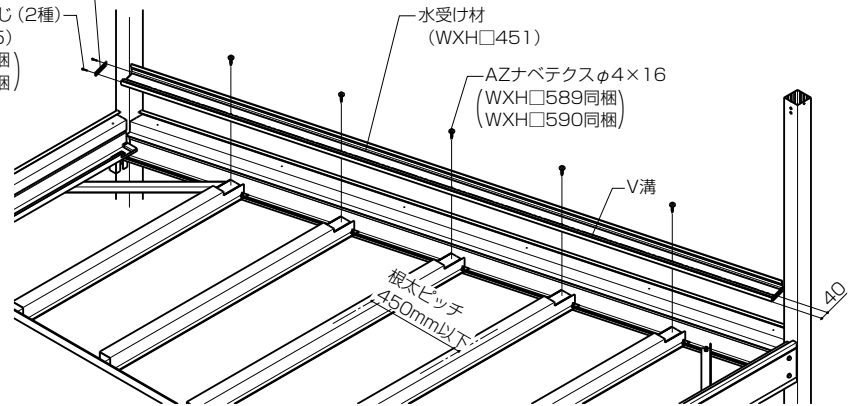
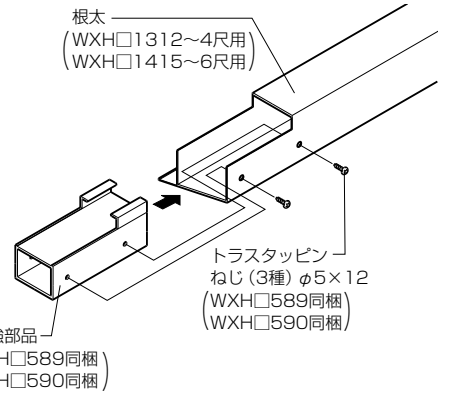


2 根太、水受け材の取付け

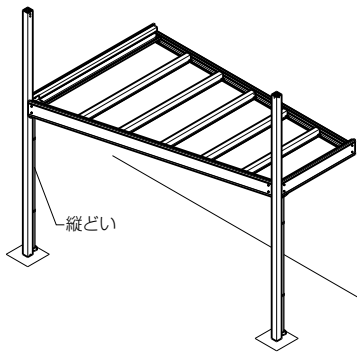
- ①根太に根太補強材部品A (B) を取付けます。
- ②根太を桁と根太掛け材に根太固定当て板で取付けます。
※根太ピッチは450mm以下で取付けてください。
※根太は一定方向全て同じ向きで取付けてください。
※基本タイプを参照してください。
- ③水受け材に水受け材端部プレートを取付けます。
- ④水受け材を左右の妻梁雨どい部分に均等にのるようにし、桁に押し当てて位置を決めます。水受け材のV溝と根太補強材部品の交差する場所をねじ止めし固定します。

水受け材端部プレート
(WXH□589同梱)
(WXH□590同梱)

ナベタッピンねじ (2種)
φ4×20 (G=5)
(WXH□589同梱)
(WXH□590同梱)



3 雨どいの取付け (柱建て式の場合)



3 雨どいの取付け (柱建て式の場合)

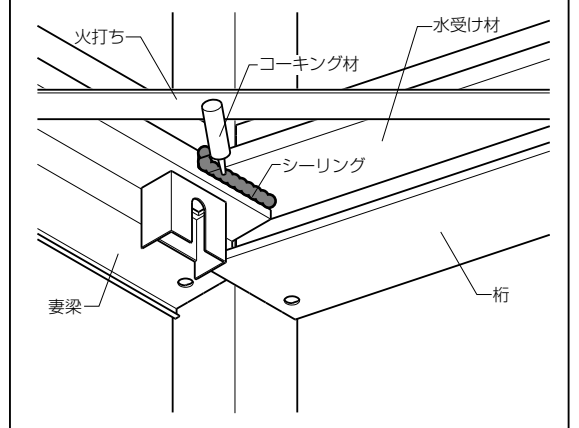
- ①柱と桁、妻梁の接合部にコーキング材を充てんします。
※基本タイプを参照してください。
- ②妻梁と水受け材の接合およびすき間にコーキング材を充てんします。(C図参照)

▲ 注意

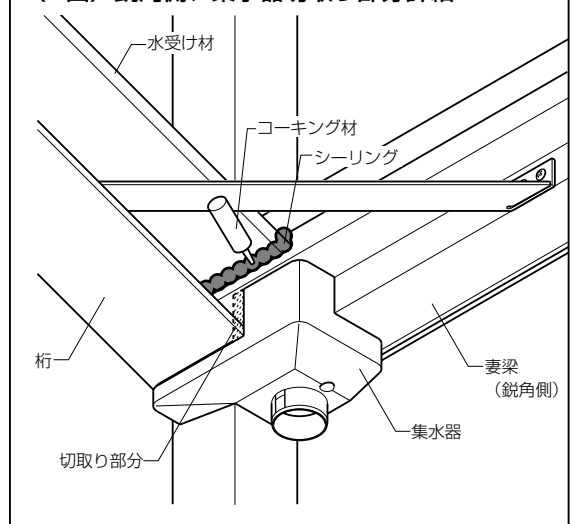
- 指定の個所にコーキング材を充てんしてください。

- ③鋭角側の集水器と桁の干渉部分を現場合わせにて切取ります。(D図参照)
- ④集水器を取付けます。
※以降の取付けについては基本タイプを参照してください。

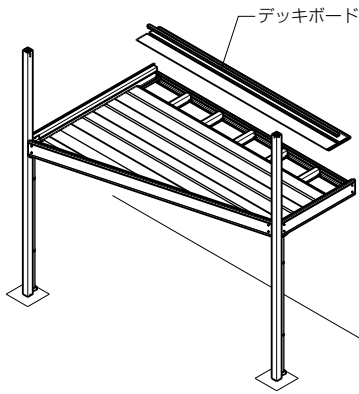
〈C図〉妻ばり、水受け材シーリング詳細



〈D図〉鋭角側、集水器切取り部分詳細



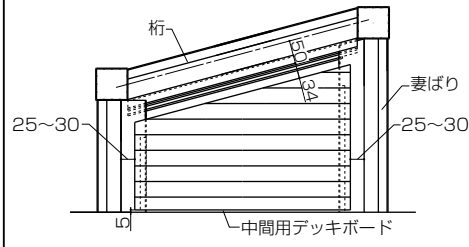
4 デッキボードの取付け



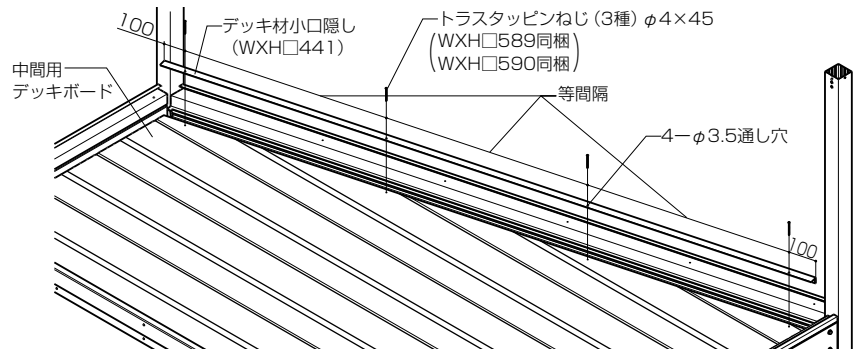
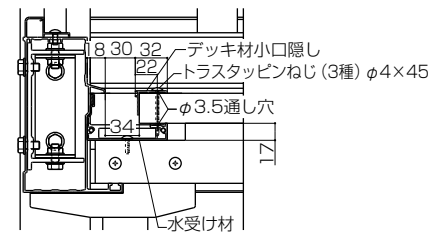
4 デッキボードの取付け

- ①バルコニーに合わせて中間用デッキボードを切断します。
※デッキボードと桁および妻梁とのすき間はE図の寸法を守ってください。
※スタート用デッキボードは使用しません。
- ②基本タイプを参照して中間用デッキボードを取付けてください。
- ③前側の中間用デッキボード切断面にデッキ材小口隠しを左右均等になるように配置し取付けてください。
(F図参照)

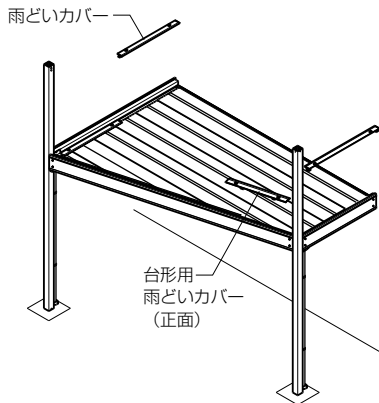
〈E図〉 中間用デッキボード切断寸法図



〈F図〉 デッキ材小口隠し取付け詳細図



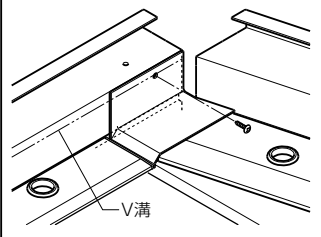
5 雨どいカバーの取付け



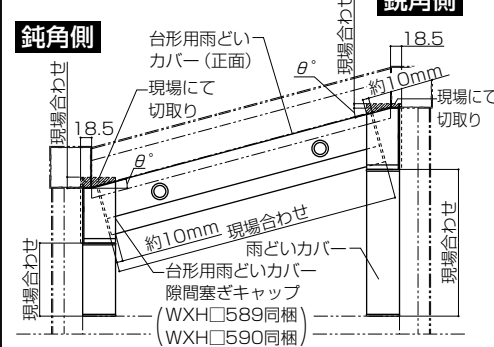
5 雨どいカバーの取付け

- ①G図を参考に台形用雨どいカバー隙間塞ぎキャップと柱、桁の干渉部分を切り取ります。
- ②台形用雨どいカバー隙間塞ぎキャップを妻梁に引っ掛けて取付けます。(H図参照)
- ③台形用雨どいカバー (正面) を取付けます。
※台形用雨どいカバー (正面) が台形用雨どいカバー隙間塞ぎキャップに10mm程度のみ込むように現場合わせで切詰めてください。(I図参照)
- ④雨どいカバーを取付けます。
※雨どいカバーは台形用雨どいカバー隙間塞ぎキャップとのすき間が開かないよう現場合わせで切詰めてください。(I図参照)

〈H図〉 台形用雨どいカバー隙間塞ぎキャップ取付け図

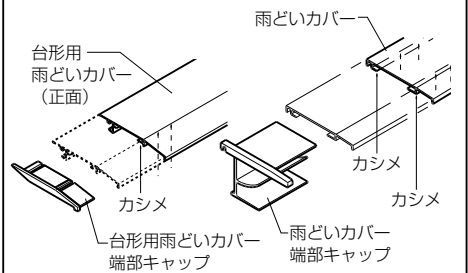


〈G図〉 雨どいカバー納まり図



〈I図〉 雨どいカバー切詰め図

※切詰め側の雨どいカバー端部キャップは、切詰めた後、図の様に取付け直してください。



台形用雨どいカバー
隙間塞ぎキャップ
(WXH□589同梱
WXH□590同梱)

切欠いています。
トラスタッピンねじ (3種) φ4×14
(WXH□589同梱
WXH□590同梱)

